

山村地域自治体(川場村)に おける部活動地域展開への取組 ～地域クラブ活動の推進に向けて～

川場村教育委員会事務局 学校教育係
川場学園スクールアドバイザー 井口 昌之

もくじ

1. 川場村について
2. 論点①「地域展開に対する保護者や生徒からの意見」
3. 論点③「川場村が取り組んでいる事例と課題」
4. まとめ

1 川場村について

○位置 沼田市の北10km
県内独立最高峰の武尊山
(標高2,158m)の南麓

○面積 総面積約85.25 k m²のうち
86.5%が森林(国有林55%)
耕地7%の自然豊かな農山村

○河川 1 級河川が 4 本
(薄根川、溝又川、田沢川、桜川)
湧き水が汲めるスポット多数



1 川場村について

■川場村の観光

○施設 道の駅田園プラザ

(ビールレストラン武尊、そば処虚空蔵
ファーマーズマーケット、ミート工房
ミルク工房、物産館、ピザ工房)

川場スキー場

(標高1,290m~1,870m 最長3,300m)



○特産 雪ほたか、りんご、 ブルーベリー、ぶどう ヨーグルトなど

○お酒 豊かな水源 2つの酒造と地ビール



1 川場村について

■川場村の人口

○人口

昭和22年 → 5,382人（ピーク）

昭和30年代半ばから減少

平成17年 → 4,186人（高齢化率37.6%）

平成27年 → 3,648人（高齢化率40.8%）

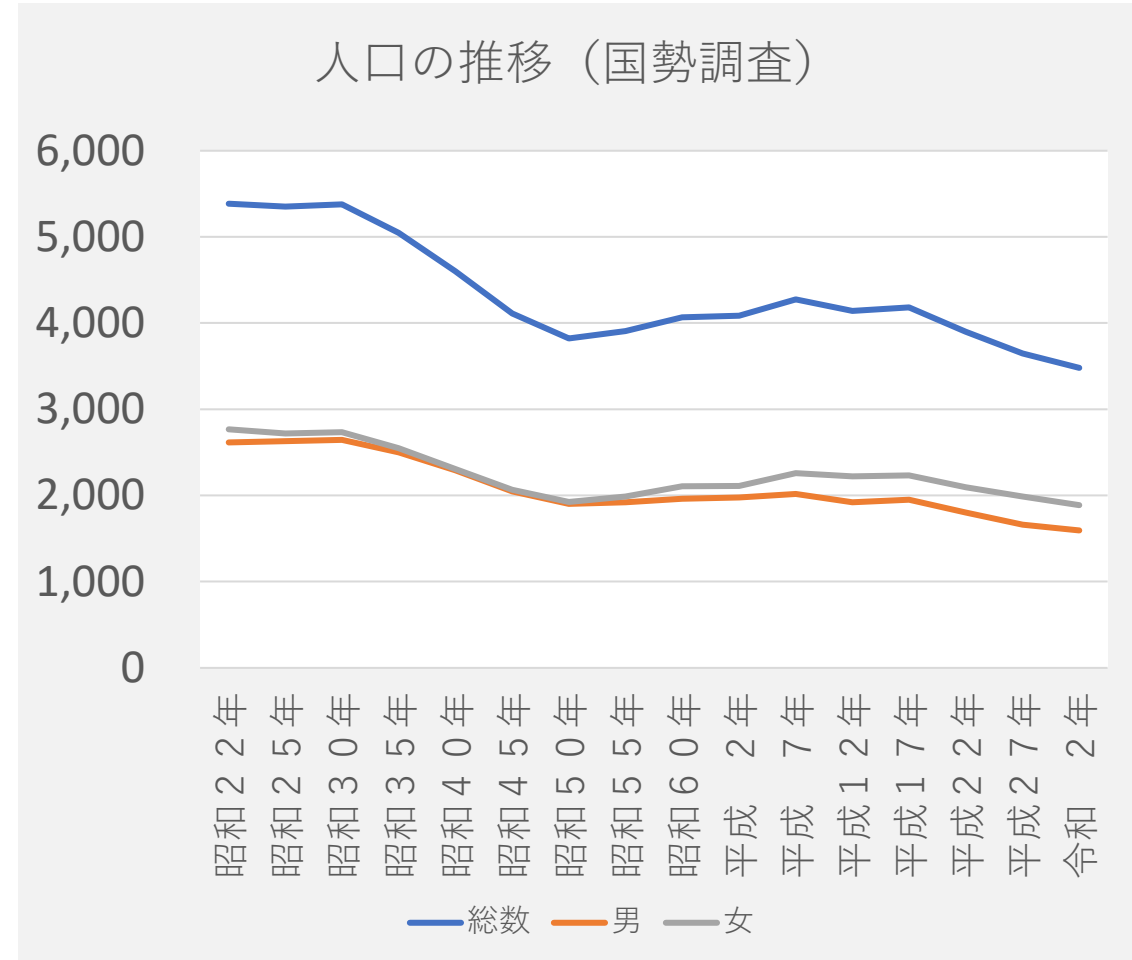
令和7年 → 2,925人 5月末現在



令和7年4月7日

川場学園（義務教育学校）開校

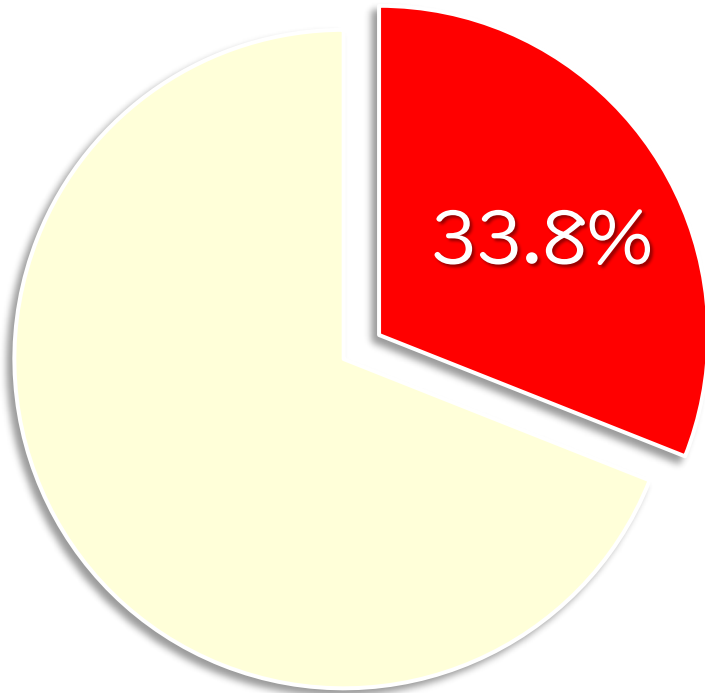
人口の推移



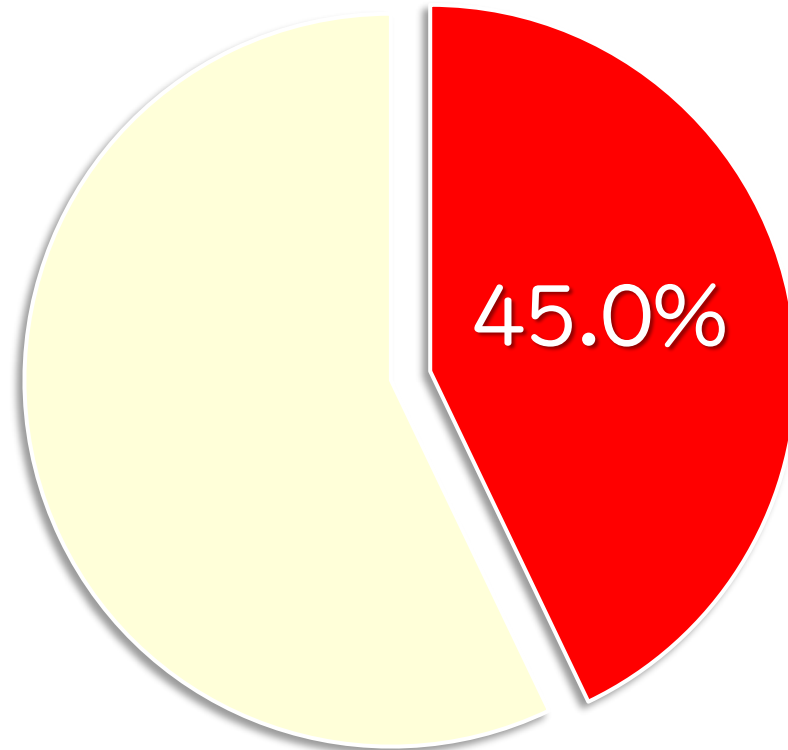
1 川場村について

■川場村の高齢化率

2001年

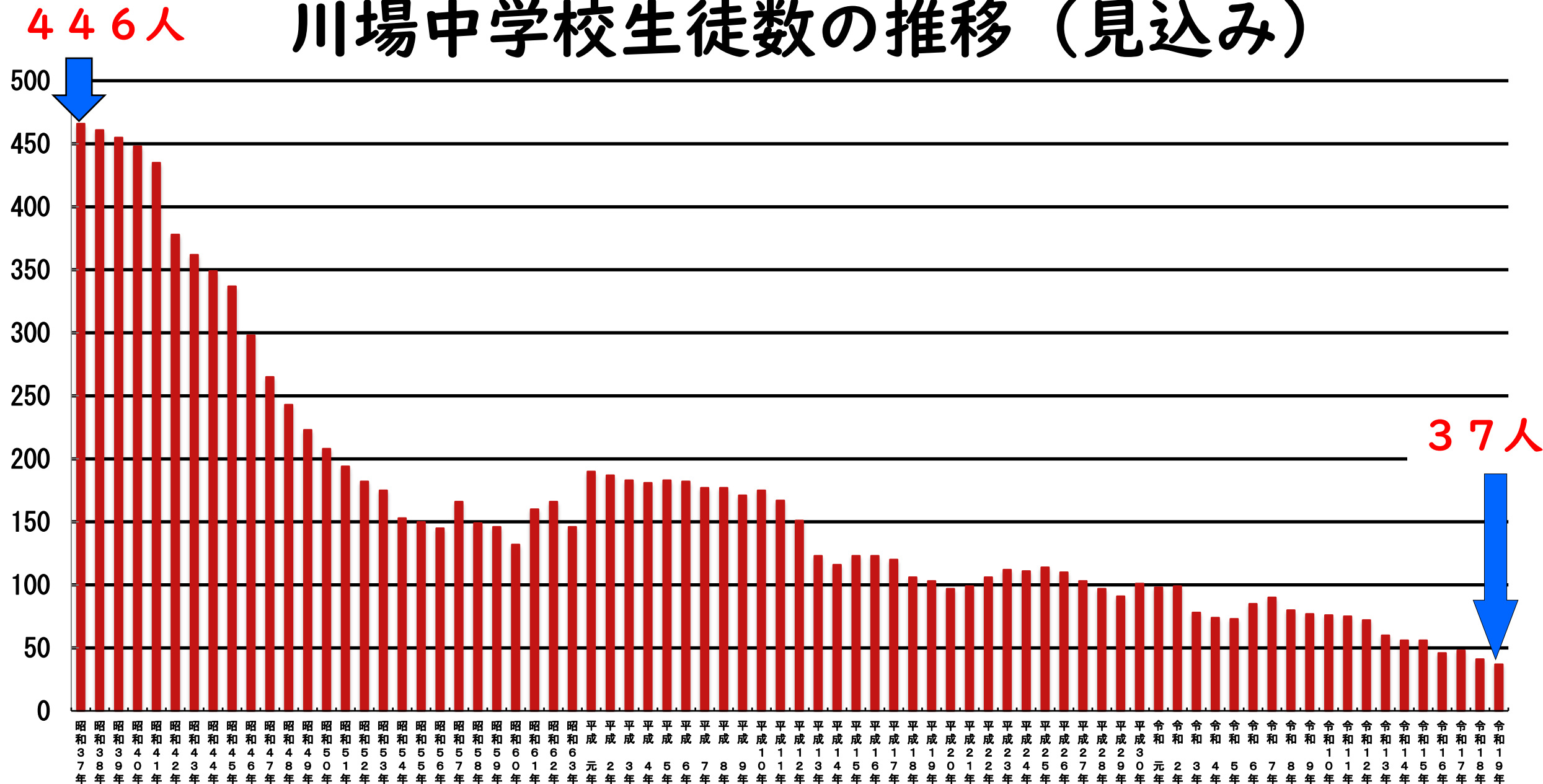


2021年



川場村

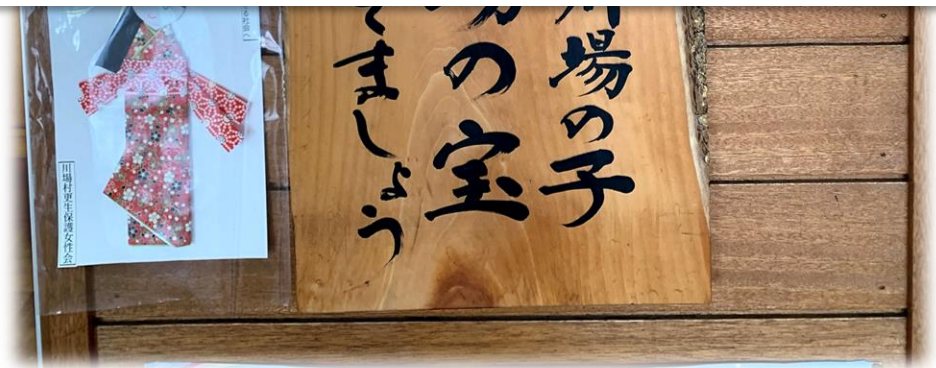
川場中学校生徒数の推移（見込み）



1 川場村について



うちの子も よその子どもも 川場の子
川場の子どもは川場の宝
だからみんなで育てましょう



教育行政方針「基本方針」

- 1 「生きる力」を育む学校教育の充実
- 2 学ぶ喜びと挑戦する意欲を育む教育の推進
- 3 一貫した9年間の教育による確かな学びの構築
- 4 共に学び合う生涯学習・社会教育の推進
- 5 学校・家庭・地域の連携強化による「共育」の実現

1 川場村について

教育行政方針「基本理念」

川場村の未来を担う子どもたちが、郷土への深い愛着と誇りをもち、豊かな人間性とたくましく生き抜く力を備えた「川場村ふるさと人材」へと成長できるよう、教育の充実を図る

すべての子どもがその個性と可能性を最大限に伸ばし、生涯にわたって主体的に学び続ける力を育むとともに、他者と協働し、地域や社会に貢献できる人材を育成する

学びは生涯にわたるものであるとの考えのもと、村民一人ひとりが知の進化と自己実現を果たせる環境を整備し、共に学び、支え合う社会の実現を目指す

教育行政方針「共に学び合う生涯学習の推進」

- 1 変化する社会に対応した生涯学習の推進
- 2 次代を担う青少年の健全育成
- 3 家庭教育支援の充実
- 4 人権教育の推進
- 5 特色ある文化の振興
- 6 生涯スポーツの振興

論点①「地域展開に対する保護者や生徒からの意見」

地域展開推進のためのアンケートの実施

(1) Googleフォームによるアンケート

- ・ 対象：川場学園 6 年生～ 9 年生の子どもとその保護者及び教職員
- ・ 内容：部活動の地域展開に関する意識、活動内容や指導者等への要望、課題点、等

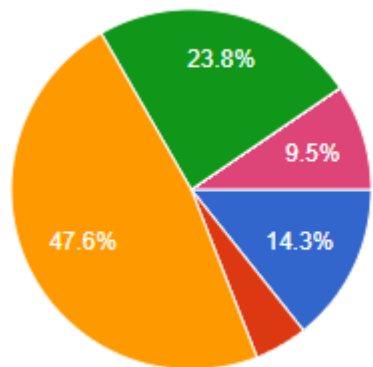
論点①「地域展開に対する保護者や生徒からの意見」

地域展開推進のためのアンケートの実施

(2) 結果 (一部抜粋)

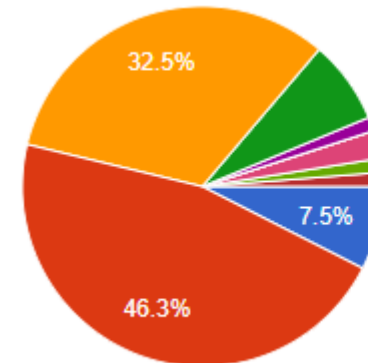
①部活動に入る (所属する) 目的

〈児童生徒〉



- 大会やコンクール等でよい成績を収めるため
- 向上心や協調性等を身につけるため
- 体力や技術を向上させるため
- 友達と楽しく活動するため
- 学校以外にスポーツ活動を行う場所がないため
- 進学や就職に有利になるかもしれないから
- 特に目的はない

〈保護者〉



- 大会やコンクール等でよい成績を収めるため
- 向上心や協調性等を身につけるため
- 体力や技術を向上させるため
- 友達と楽しく活動するため
- 学校以外にスポーツ活動を行う場所がないため
- 進学や就職に有利になるかもしれないから
- 特に目的はない
- 文化部希望ですが、選択肢がなく、所...
- 技術向上のため。

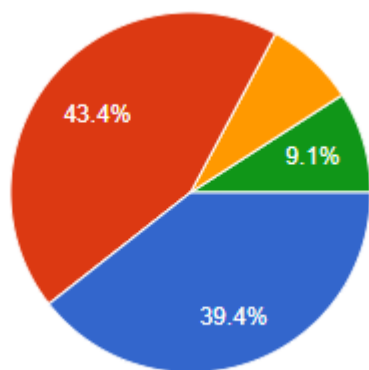
論点①「地域展開に対する保護者や生徒からの意見」

地域展開推進のためのアンケートの実施

(2) 結果（一部抜粋）

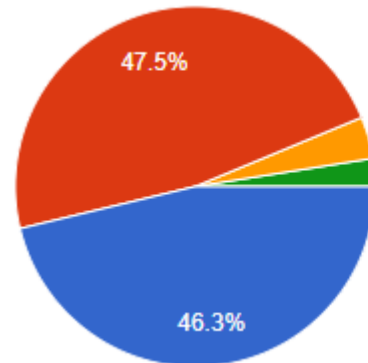
②地域スポーツクラブへの参加の意志

〈児童生徒〉



- 学校または学校の近くの施設なら活動したい
- 近くの施設でなくても、自分のやりたい条件に合うところがあれば参加したい
- 学校の部活動でないのなら参加したくない
- そもそも休日（土・日）の活動はしたくない

〈保護者〉



- 学校または学校の近くの施設なら参加させたい
- 近くの施設でなくても、自分のやりたい条件に合うところがあれば参加させたい
- 学校の部活動でないのなら参加させたくない
- そもそも休日（土・日）に参加させたくない

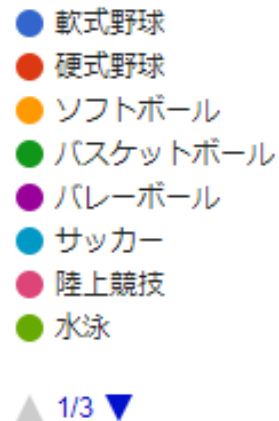
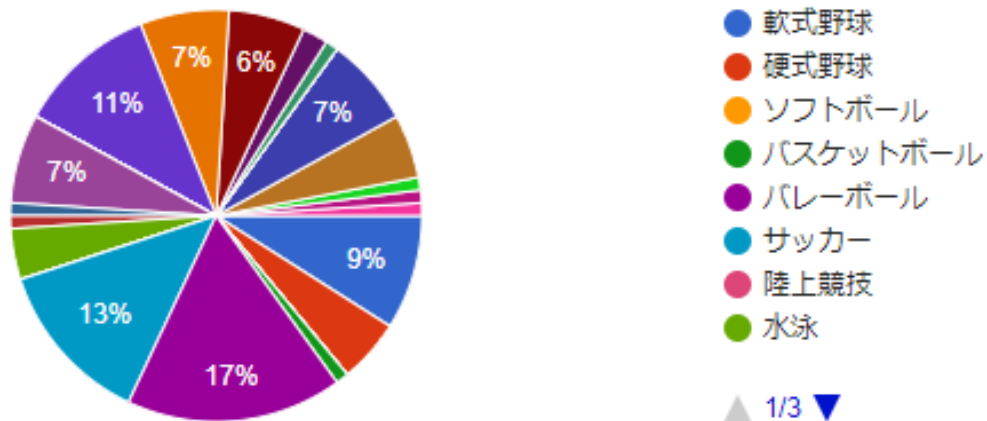
論点①「地域展開に対する保護者や生徒からの意見」

地域展開推進のためのアンケートの実施

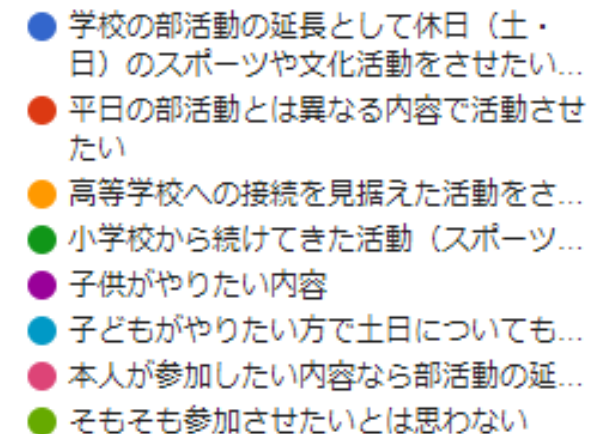
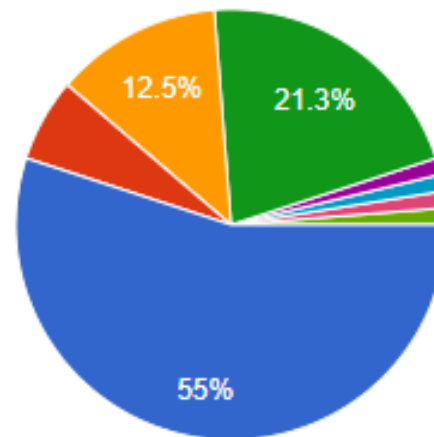
(2) 結果 (一部抜粋)

③地域スポーツクラブでやってみたい活動

〈児童生徒〉



〈保護者〉



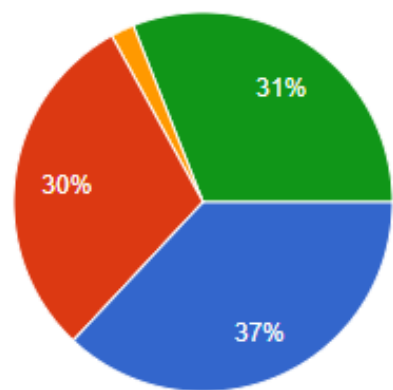
論点④「地域展開に対する保護者や生徒からの意見」

地域展開推進のためのアンケートの実施

(2) 結果（一部抜粋）

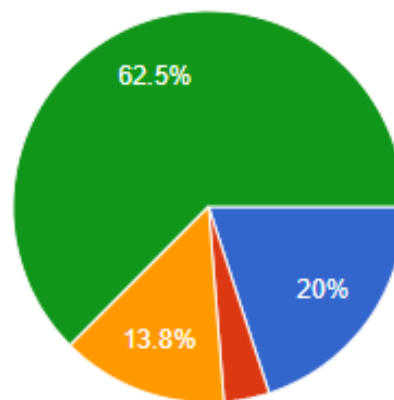
④ どんな指導者がよいか

〈児童生徒〉



- 平日に学校の部活動を指導している先生
- 指導するスポーツや文化活動の経験がある川場村の指導者
- 指導するスポーツや文化活動の経験がある近隣の市町村の指導者
- 市町村に関係なく専門的な技能や知識・資格をもつ指導者

〈保護者〉



- 平日に学校の部活動を指導している先生
- 指導するスポーツや文化活動の経験がある川場村の指導者
- 指導するスポーツや文化活動の経験がある近隣の市町村の指導者
- 市町村に関係なく専門的な技能や知識・資格をもつ指導者

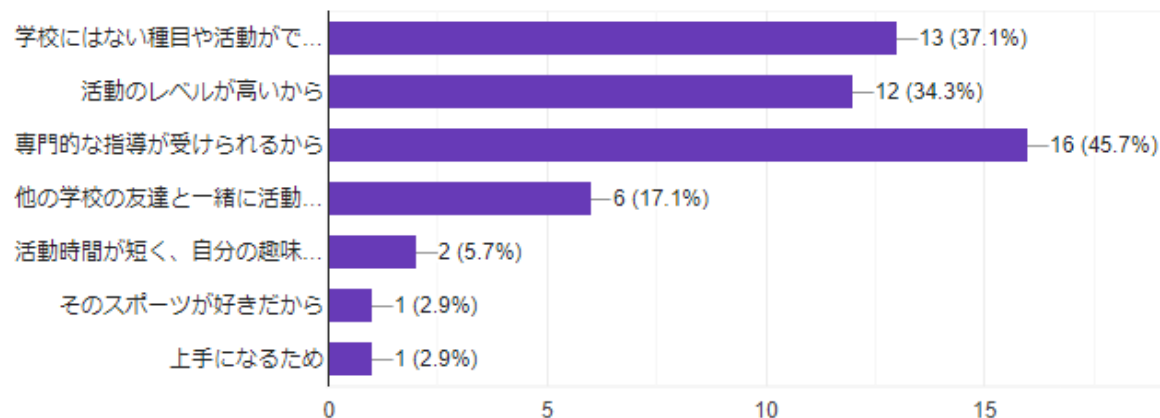
論点①「地域展開に対する保護者や生徒からの意見」

地域展開推進のためのアンケートの実施

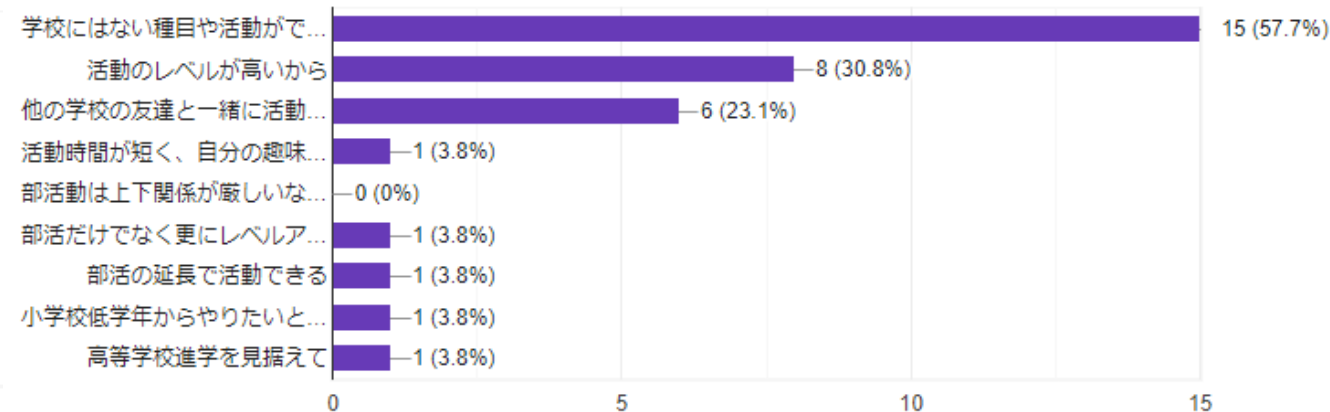
(2) 結果 (一部抜粋)

⑤現在、学校外の活動に所属している理由

〈児童生徒〉



〈保護者〉



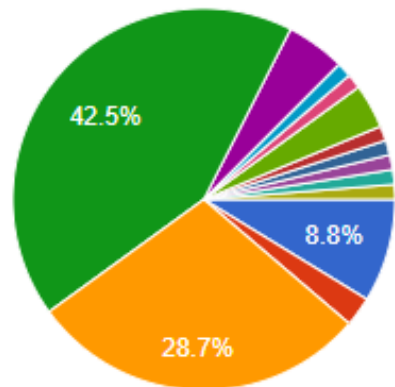
論点①「地域展開に対する保護者や生徒からの意見」

地域展開推進のためのアンケートの実施

(2) 結果（一部抜粋）

⑥部活動の地域展開にむけての課題

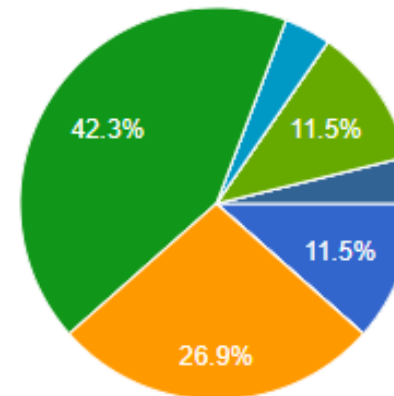
〈児童生徒〉



- 子ども・保護の理解
- 教職員の理解
- 受け皿となる団体等の整備
- 人材（指導者や活動を運営する人等）...
- 活動場所の確保
- 大会の在り方
- 会費や保険
- トラブルが起こった場合の責任の所在

▲ 1/2 ▼

〈保護者〉



- 子ども・保護の理解
- 教職員の理解
- 受け皿となる団体等の整備
- 人材（指導者や活動を運営する人等）...
- 活動場所の確保
- 大会の在り方
- 会費や保険
- トラブルが起こった場合の責任の所在

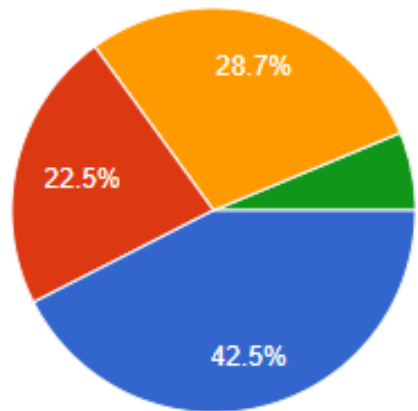
▲ 1/2 ▼

論点①「地域展開に対する保護者や生徒からの意見」

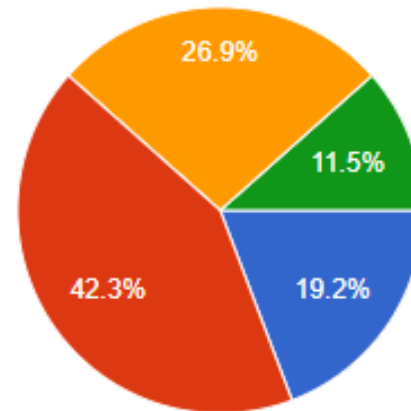
地域展開推進のためのアンケートの実施

(2) 結果（一部抜粋）

⑦中体連等の大会へのクラブチームの参加 〈児童生徒〉 〈保護者〉



- 参加者が増え大会が盛り上がるので賛成
- 出場機会が増えるので賛成
- 学校対抗のままの方がよい
- 強いクラブチームや団体が出てくる可能性があるので反対



- 参加者が増え大会が盛り上がるので賛成
- 出場機会が増えるので賛成
- 学校対抗のままの方がよい
- 強いクラブチームや団体が出てくる可能性があるので反対

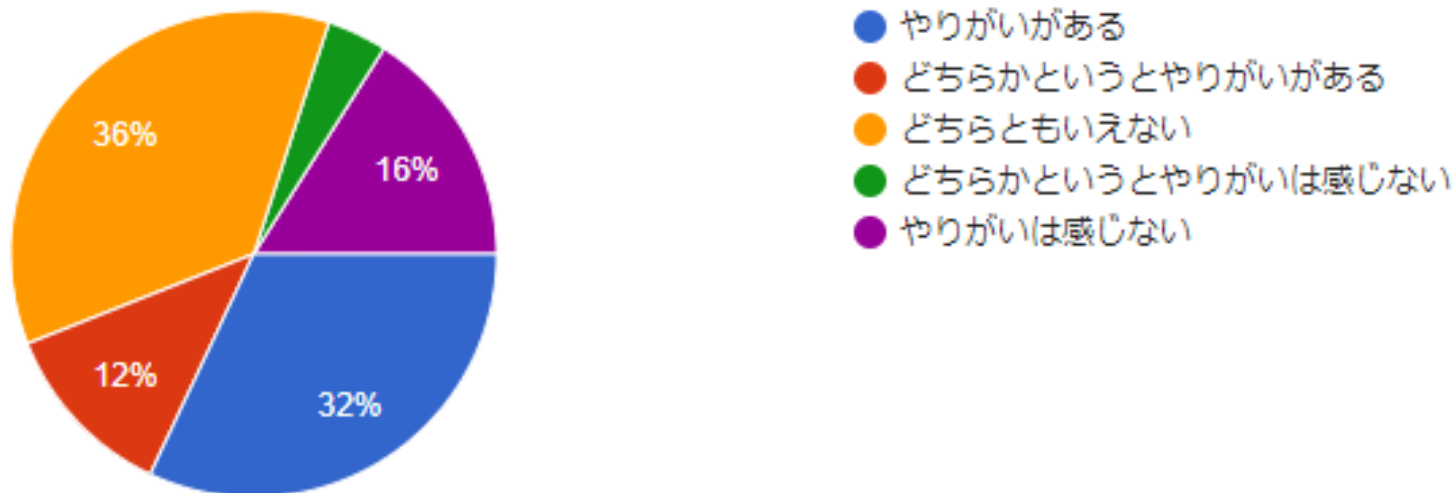
論点①「地域展開に対する保護者や生徒からの意見」

地域展開推進のためのアンケートの実施

(2) 結果（一部抜粋）

⑧部活動指導のやりがい

〈教職員〉



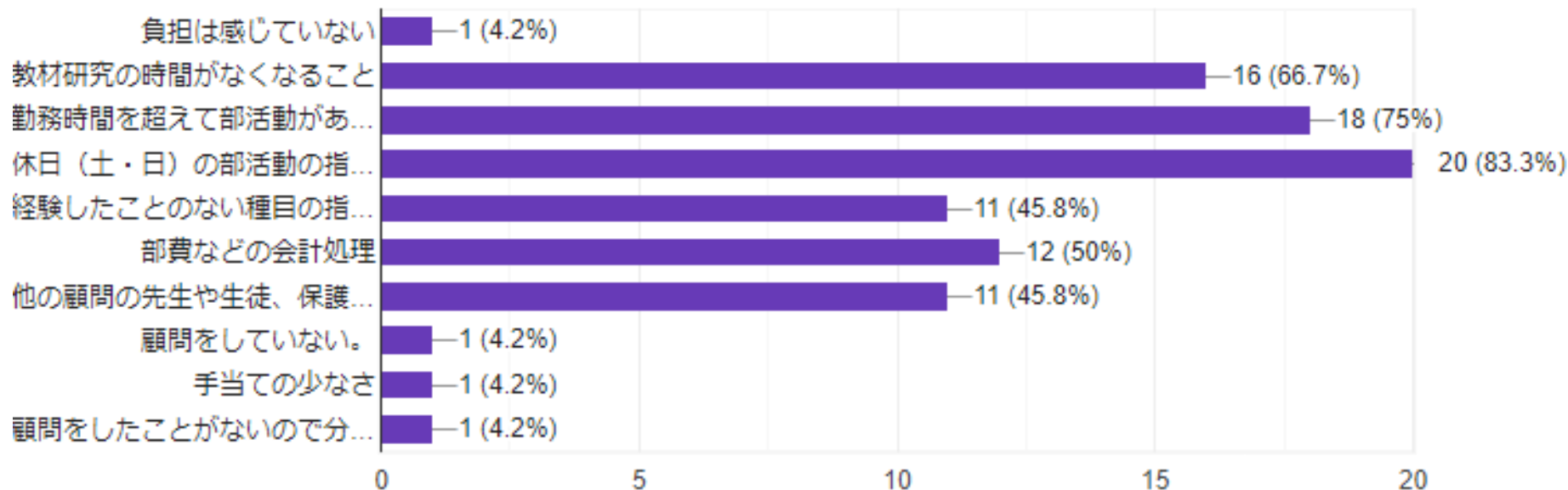
論点①「地域展開に対する保護者や生徒からの意見」

地域展開推進のためのアンケートの実施

(2) 結果（一部抜粋）

⑨部活動の負担

〈教職員〉



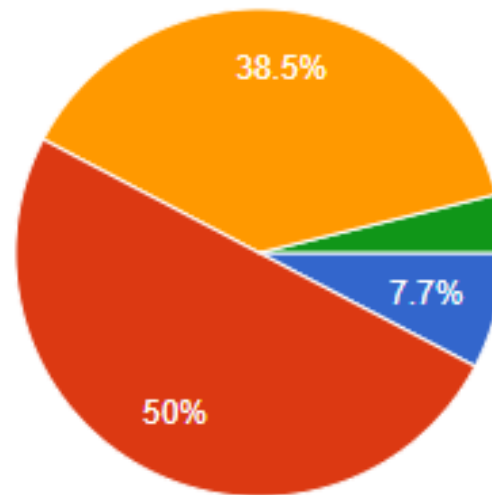
論点①「地域展開に対する保護者や生徒からの意見」

地域展開推進のためのアンケートの実施

(2) 結果（一部抜粋）

⑩部活動の地域展開への学校の関わり

〈教職員〉



- 「子どものスポーツ・文化活動」は、今後も学校の部活動として提供していくべきである
- まずは、休日（土・日）の部活動から「地域展開」に取り組んでいくべきである
- 休日（土・日）の部活動からではなく、平日も同時に地域展開していくべきで...
- どちらともいえない。地域に移行して、人間関係などで指導事項ができるかも...

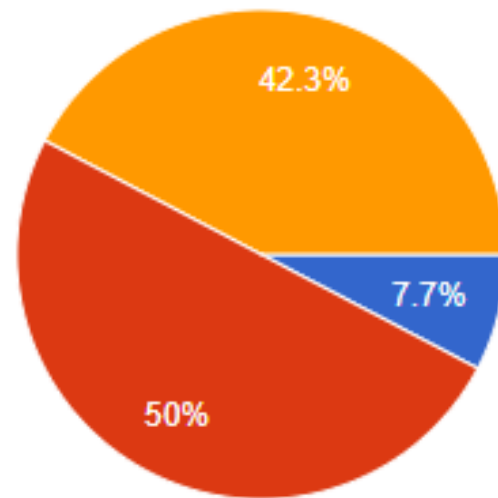
論点①「地域展開に対する保護者や生徒からの意見」

地域展開推進のためのアンケートの実施

(2) 結果（一部抜粋）

⑪部活動の地域展開への自身の関わり

〈教職員〉



- 兼職兼業の許可を得て、自身が指導に関わりたい
- 兼職兼業を行うつもりはない
- 兼職兼業を行うかまだ分からない

論点①「地域展開に対する保護者や生徒からの意見」

地域展開推進のためのアンケートの実施

(3) 考察

①部活動に入る（所属する） 目的

- ・ 児童生徒、保護者ともに体力や技術の向上が上位だが、大きく違うのが、**児童生徒は友達と楽しく活動することを目的**としているが、**保護者は向上心や協調性等の人間性の向上を望んでいる。**

論点①「地域展開に対する保護者や生徒からの意見」

地域展開推進のためのアンケートの実施

(3) 考察

②地域クラブへの参加の意志

- ・ 児童生徒、保護者ともに8割以上が参加の意志を示しているが、大きく違うのが、児童生徒はやりたい種目であれば近くでなくても参加したいと思っているが、保護者は近くの施設で活動させたいと思っており、送迎の問題や交通費等の不安を感じている。

論点①「地域展開に対する保護者や生徒からの意見」

地域展開推進のためのアンケートの実施

(3) 考察

③地域クラブでやってみたい活動

- ・ 児童生徒はバレーや野球等の既存の部活の種目を選んでいる生徒が多いが、学校の部活動にはないサッカーを選んでいる生徒も多く、学校の部活動以外の種目も選べる環境づくりが必要となる。保護者は、地域クラブを学校の部活動の延長と捉えている。

論点①「地域展開に対する保護者や生徒からの意見」

地域展開推進のためのアンケートの実施

(3) 考察

④ どんな指導者がよいか

- ・ 児童生徒は、平日に部活動を指導している先生がよいと思っているが、保護者は圧倒的に市町村に関係なく専門的な技能や知識を持った指導者がよいと思っている。児童生徒と保護者の指導者に対して期待する内容にズレがあり、活動の内容を幅広く選択できる体制整備が必要である。

論点①「地域展開に対する保護者や生徒からの意見」

地域展開推進のためのアンケートの実施

(3) 考察

⑤学校外の活動に所属している理由

- ・ 児童生徒、保護者ともに学校の部活動にはない種目で、専門的で高いレベルの指導が受けられることを理由に挙げている。この結果から、地域クラブ活動により高い技能向上等を求めている子どもと、楽しさや親しみやすさを求めている子どもの2極化が生じている。

論点①「地域展開に対する保護者や生徒からの意見」

地域展開推進のためのアンケートの実施

(3) 考察

⑥部活動の地域展開に向けての課題

- ・保護者、教職員ともに人材や受け皿の確保を挙げしており、地域展開に向けた環境整備を進めていくことが必須である。また、地域クラブに対しての理解も課題として挙げている人が多く、意識改革のための啓発活動も必須である。

論点①「地域展開に対する保護者や生徒からの意見」

地域展開推進のためのアンケートの実施

(3) 考察

⑦中体連等の大会へのクラブチームの参加

- ・保護者、教職員ともに肯定的意見が約7割を占めており、**既存の中体連の大会の形を変えていく必要性**を感じている。一方で、学校対抗のままでよいと考える人も約3割おり、地域展開に向けた**意識改革を図っていくことが大切**である。

論点①「地域展開に対する保護者や生徒からの意見」

地域展開推進のためのアンケートの実施

(3) 考察

⑧部活動指導のやりがい

- ・「どちらとも言えない」という教員が多いが、積極的にやりがいを感じている教員もほぼ同数いる。逆にやりがいを感じないという教員も2割程度おり、**どちらの考えも尊重できるような体制の整備**が必要となる。

論点①「地域展開に対する保護者や生徒からの意見」

地域展開推進のためのアンケートの実施

(3) 考察

⑨部活動の負担

- ・土日の部活動指導や平日の勤務時間を超えての部活動指導と、それを起因とした教材研究の時間の確保が難しいことが挙げられている。部活動の拘束時間の長さに課題を感じており、働き方改革による適正な勤務時間の確保が急務となる。

論点①「地域展開に対する保護者や生徒からの意見」

地域展開推進のためのアンケートの実施

(3) 考察

⑩部活動の地域展開への学校の関わり

- ・まずは土日の部活動から地域展開を望ましいと考えている教員が多く、段階的な移行を望んでいるが、平日の移行も同時に行うべきと考えている教職員も約4割おり、前述した拘束時間の長さを改善していくことが急務である。

論点①「地域展開に対する保護者や生徒からの意見」

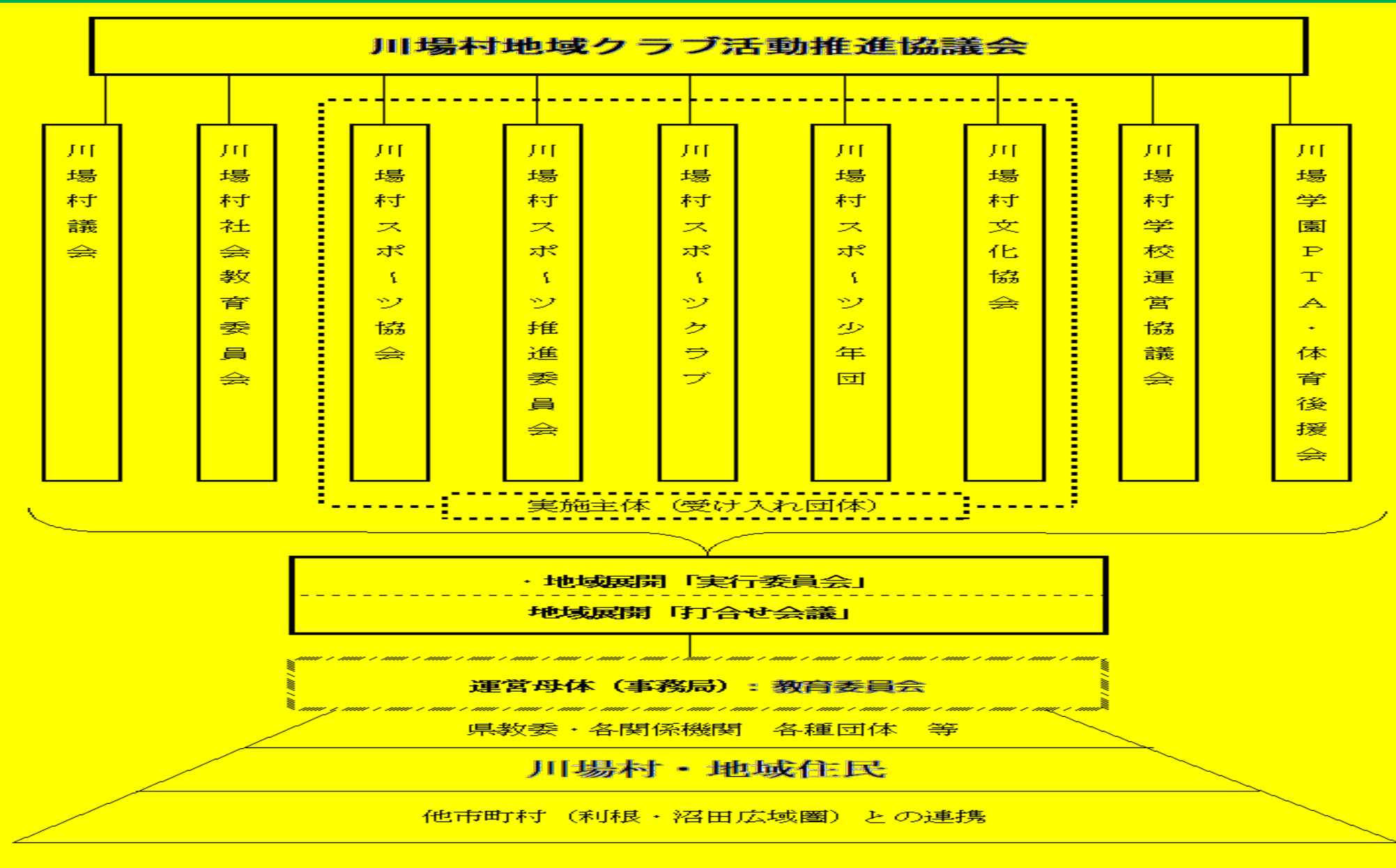
地域展開推進のためのアンケートの実施

(3) 考察

⑪部活動の地域展開への自身の関わり

- ・ 兼職兼業を行うつもりはないが5割で、どちらともいえないを含めると実に9割以上が地域展開への関わりに対して消極的である。教職員がいかに部活動による拘束時間の長さに疲弊しているかが伺える。部活動の地域展開を地域主導で運営していけるかが重要となる。

論点③ 「川場村が取り組んでいる事例と課題」



論点③ 「川場村が取り組んでいる事例と課題」

事例Ⅰ 組織的取組推進のための体制づくり

(1) 教委内の打合せ会議の実施

- ・週1回程度の打合せを実施
- ・メンバー  教育長、事務局長、教頭代表、社会教育主事、担当者(2名)
- ・内容  地域展開に向けた方向性や具体策の検討

事例Ⅰ 組織的取組推進のための体制づくり

(2) 実行委員会の実施

- ・ 月 1 回程度の打合せを実施
- ・ メンバー  打合せ会議＋スポーツ
クラブの代表 2 名
- ・ 内容  打合せ会議の内容の確認及び再検討

論点③「川場村が取り組んでいる事例と課題」

事例Ⅰ 組織的取組推進のための体制づくり

(3) 川場村地域クラブ活動推進協議会

- ・ 年3～4回程度の開催
- ・ メンバー  学識経験者、各種団体代表、保護者代表、学校代表
計11名（その他、事務局6名）
- ・ 内容  実行委員会での検討事項の確認および再検討、決定

論点③ 「川場村が取り組んでいる事例と課題」

ここまでの取組から見えてきた課題



- 課題1：指導者や参加者の確保（意識改革・周知）
- 課題2：活動内容レベルの設定（中体連との関連）
- 課題3：持続可能な活動にするため運営体制
- 課題4：謝金の在り方
- 課題5：緊急時の対応（指導者の資質向上・保険）
- 課題6：多様なニーズに対応するための市町村連携

まとめ

ここまでの取組から見えてきた川場村の課題を踏まえた方向性の検討及び決定

川場村における部活動の地域展開は、スポーツ活動や文化活動に親しむことを基本とした地域クラブ活動として推進していく。なお、学校の部活動と同種目で異種目でも可とする。



具現化に向け、持続可能な川場村の実態に合った「川場スタイル」の確立



ご清聴ありがとうございました！

